

「放射性廃棄物ドラム缶のタイプ別重量最適化のための実験研究」

Myoung-Kyu Kim, KNDT Co., Ltd. (韓国)

放射性廃棄物の暫定貯蔵容量が飽和に近づいてきたこと、また、低中レベル放射性廃棄物処分場の建設が遅れていることから、廃棄物量を低減する必要性が表面化している。

ドラム缶の重量最適化実験の目的は、以下の通りである。

- ・ 製造から処分までの品質保証を行い、信頼性を確保する。
- ・ 標準化によって重量が最適化された廃棄物ドラム缶を製造する。
- ・ 廃棄物ドラム缶の発生量を低減して、処分コストを削減する。
- ・ 廃棄物ドラム缶の処分場への輸送規定に適合する。

2010年8月時点で、紙廃棄物を充填する廃棄物ドラム缶の重量は最適化されている。2010年9月以降は、綿布、ビニール樹脂、ゴム又はプラスチック廃棄物を充填する廃棄物ドラム缶の重量を最適化するための試験が行われる。